



## 疾病の減少

**30%以上**

Immunity+種雄牛を  
3世代以上交配することで  
疾病発症を大きく軽減

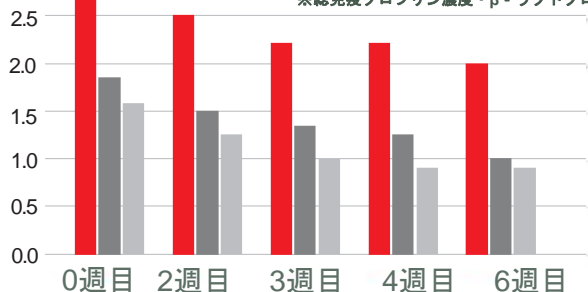


※高免疫牛は平均または低免疫牛に比べて疾病発症率が30%低い  
ステーパーン・ラーマーら, 2018

## 高品質な初乳

分娩後6週間におけるグロブリン濃度※の比較

※総免疫グロブリン濃度・β-ラクトグロブリン濃度



■ 高免疫牛 ■ 平均 ■ 低免疫牛

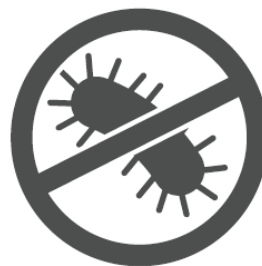
Immunity+種雄牛を父に持つ娘牛は  
高品質な初乳を生産

高免疫牛は初乳中の総免疫グロブリン濃度と  
β-ラクトグロブリン濃度が著しく高い

フレミングら2014

## 疾病を撲滅

多くの細菌性およびウイルス性病原体に対する幅広い防御

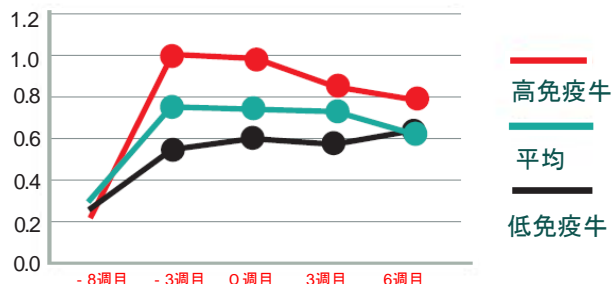


子宮炎  
後産停滞  
肺炎  
ヨーネ病  
乳房炎  
趾皮膚炎

## より優れたワクチンへの反応

高免疫能力を持つ牛はワクチンを接種した際により強い反応を見せる

大腸菌ワクチンに対する血清抗体価



ワッター、マラードら, 2000, JDS 83:488

## 高い遺伝率



能力形質 25-35%  
体型形質 15-40%  
**免疫反応 30%**  
長命性 8-10%  
分娩難易度 6-7%  
娘牛繁殖力 4-7%  
疾病発症 2-10%



**Disease Resistant Genetics**